

## 2023 年度東京ビジネスデザインアワード よくある質問

### 目次

#### 応募に関する質問

##### 1 対象となる素材、技術に関して

Q1-1 テーマ応募とはなんですか。……………4

Q1-2 応募できないジャンルはありますか。……………4

Q1-3 現在開発中の素材／技術、サービスで応募を検討していますが可能でしょうか。……………4

Q1-4 応募しようとしている技術・素材等が既に実用化されている必要があります。  
と募集要項にあります。実用化の定義を教えてください。……………4

Q1-5 素材メーカーが素材を最終製品として販売している場合、対象外ですか。……………4

##### 2 応募資格について

Q2-1 自分たちに応募資格があるかどうか、どのように調べますか。……………4

Q2-2 個人事業主です。応募できますか。……………5

Q2-3 今年創業したばかりです。応募できますか。……………5

Q2-4 東京都内に事業所がありますが、本社は都外です。応募はできますか。……………5

Q2-5 協力会社との連名での応募はできますか。……………5

Q2-6 メーカーではない販売代理店ですが、応募できますか。……………5

Q2-7 同業他社が当社と同様／類似の素材／サービス・技術を持っていますが、  
応募に支障はないですか。……………5

Q2-8 これまで他のコンペに応募した素材・技術／サービスは応募できますか。……………5

Q2-9 過去に本アワードに参加及び受賞経験の有無にかかわらず、過去に同じ素材・テーマで  
応募をしたことがあるが再応募は可能ですか。……………6

### 審査に関する質問

#### 3 審査方法、審査基準について

Q3-1 審査方法や、審査基準を知りたい。……………6

Q3-2 受賞までの流れを知りたい。……………6

Q3-3 テーマに採用された場合、必ずデザイナーとマッチングできますか。……………6

Q3-4 最終審査会はどのような会ですか。……………7

#### 4 応募用紙の作成について

Q4-1 書類の書き方などに関して提出前に相談できますか。……………7

Q4-2 提出後に応募した内容の変更はできますか。……………7

Q4-3 応募用紙への押印が必要なのはなぜですか。……………8

Q4-4 応募用紙に「新事業開発予算（想定）」の記入が必要なのはなぜですか。……………8

#### 5 提出書類・提出方法について

Q5-1 書けないところは空欄で提出してもいいですか。……………8

Q5-2 応募用紙は郵送とありますが、持ち込みでもいいですか。……………8

## 6 受賞後の支援について

Q6-1 参加するとどんなメリット、サポートがありますか。……………8

Q6-2 製品化や販路の確保を保証してもらえるのでしょうか。……………9

## 7 その他

Q7-1 参加費用は無料となっていますが、開発費用等の企業負担はどのくらいかかりますか。…9

Q7-2 デザイナーとの協業経験がないので、どのようにやりとりしたらよいかわかりません。…9

Q7-3 過去のテーマ賞受賞、製品化・事業化したものを知りたいです。……………9

## 応募に関する質問

### 1 対象となる素材、技術に関して

#### Q1-1 テーマ応募とはなんですか。

A. 自社保有の加工技術や素材、サービスなどを指します。自社内で活用を希望する「技術」や「素材」を当コンペティションのお題として募集するものです。テーマ提供企業に選ばされると、全国のデザイナーやクリエイターが、あらゆる可能性を検討し、活用方法を見極め、同時に企業のビジョンを理解し、そのビジョンをどうビジネスの中で可視化するかを思考し、自由に提案してくれます。

#### Q1-2 応募できないジャンルはありますか。

A. 食品は不可となります。それ以外の分野においては幅広く対象となり得るため、ご不明な場合は個別にご相談ください。

#### Q1-3 現在開発中の素材／技術、サービスで応募を検討していますが可能でしょうか。

A. 試作段階の素材・技術、サービスは対象になりません。販売・提供が開始されており、顧客(BtoB、BtoC問わず)が購入できる 素材・技術、サービスである必要があります。

#### Q1-4 応募しようとしている技術・素材等が既に実用化されている必要があります。と募集要項にあります。実用化の定義を教えてください。

A. 顧客が購入または利用できるようになった状態をいいます。

#### Q1-5 素材メーカーが素材を最終製品として販売している場合、対象外ですか。

A. 素材メーカーが素材を最終製品として販売している場合はテーマの対象です。ご不明な場合は個別にご相談ください。

## 2 応募資格について

### Q2-1 自分たちに応募資格があるかどうか、どのように調べますか。

A.公式 web サイトに掲載している募集要項(PDF)をご確認ください。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/company/>

**Q2-2 個人事業主です。応募できますか。**

A. はい、ご応募いただけます。個人事業主の場合は、確定申告書や住民票記載事項証明書により都内に主たる事業所を有すると認められるものの提出が必要です。

**Q2-3 今年創業したばかりです。応募できますか。**

A. ご応募いただけます。

**Q2-4 東京都内に事業所がありますが、本社は都外です。応募はできますか。**

A. 本店所在地が都内に登記されていて、事業活動を行っていることが応募資格ですが、それ以外の場合は、法人事業税において、都内の事業所等における分割基準の割合が最も高いことを証明する資料をご提出ください。

詳細は募集要項(PDF)をご確認ください。<https://www.tokyo-design.ne.jp/company/>

不明点がある場合は、事務局までご相談ください。

**Q2-5 協力会社との連名での応募はできますか。**

A. 基本的には連名はできません。その技術や素材を作るため協力会社がある場合は、応募用紙にチェックをする項目がありますので、ご確認ください。

**Q2-6 メーカーではない販売代理店ですが、応募できますか。**

A. 自社保有の加工技術や素材等が対象になるため、ご応募できません。ただし、総代理店などの場合は、内容によって可能な場合があります。事務局までご連絡ください。

**Q2-7 同業他社が当社と同様／類似の素材／サービス・技術を持っていますが、応募に支障はないですか。**

A. はい、ご応募いただけます。可能な限り、競合・類似デザインとの差異についてや、応募するテーマによって何を成し遂げたいかなど企業のビジョンをお書き添えください。

**Q2-8 過去に本アワードに参加及び受賞経験の有無にかかわらず、過去に同じ素材・テーマで応募をしたことがあるが再応募は可能ですか。**

A. テーマ選定企業に選ばれたが、デザイナーとマッチングできなかったテーマは、ご応募いただけます。ただし、一度、テーマ賞（デザイナーとマッチング）に選ばれた、全く同一の素材・技術、

サービスでご応募いただく場合は、当該素材・技術、サービスに機能等が付加され、機能・性能が向上したなど、どの点が改良されたのか、なぜもう一度応募されたいのかその旨を記入してください。

### **Q2-9 これまで他のコンペに応募した素材・技術/サービスは応募できますか。**

A. はい、ご応募いただけます。応募する素材や技術に何か受賞歴がある場合は、その旨もお書きください。また、受賞された他のコンペの方が制限を設けていることも考えられますので、受賞されたコンペのルール上、問題がないかご自身でご確認ください。

## **審査に関する質問**

### **3 審査方法、審査基準について**

#### **Q3-1 審査方法や、審査基準を知りたい。**

A. テーマ審査は書類審査と必要に応じて面談を行います。公式 web サイトに掲載している募集要項(PDF)をご確認ください。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/company/>

#### **Q3-2 受賞までの流れを知りたい。**

A. 企業からのテーマ応募を締め切り、審査を経て、テーマ選出企業になると「テーマ企業」として、発表されます。その後、9月ごろより全国のデザイナーより、テーマの新規用途開発を軸としたビジネスデザインを募集します。

デザイナーからの提案を締め切ったあと、審査委員会による一次審査が行われ、二次審査では一次審査で絞られた提案を元に審査委員会とテーマ企業により、マッチングするデザイナーの提案を1件選出します。これが、「テーマ賞」となり、後日東京都より表彰を行います。また、テーマ賞になった企業とデザイナーは、最終審査会に向けて最優秀賞、優秀賞を目指して協業していただきます。最優秀賞、優秀賞には企業とデザイナーそれぞれに賞金が贈られます。最終審査会後は、東京都・審査委員会・事務局でサポートしながら、マッチングしたデザイナーと提案の実現化に向けて正式に協業を行なっていただきます。

#### **Q3-3 テーマに採用された場合、必ずデザイナーとマッチングできますか。**

A. デザイナーとの協業を目指す東京都内中小企業からの公募により、「テーマ」として選出されたあと、デザイナーからの提案を募ります。デザイン提案審査の結果、「該当なし」の場合（実現化したい提案がない）は、マッチングしません。

### Q3-4 最終審査会はどのような会ですか。

A. 企業とデザイナーをマッチングした「テーマ賞」による、協業の成果を公開プレゼンテーション形式で発表する会です。提案最終審査では、各企業のテーマに対するデザイン提案について、受賞デザイナーがプレゼンテーションをおこない、最優秀賞、優秀賞を決定します。また、協業によって生まれた試作等も提案していただきます

## 4 応募用紙の作成について

### Q4-1 書類の書き方などに関して提出前に相談できますか。

A. はい、ご相談いただけます。さらに、具体的に応募手続きを進めていただいている方や応募で迷われている方向けに、オンライン（Zoom）にてご相談をお受けいたします。（事前申込制・先着順受付・参加無料）

日時：2023年5月9日（火）～6月15日（木）各日時間予約制

ご希望の方は、東京ビジネスデザインアワード事務局まで、

タイトルに「オンライン相談希望」と明記いただき、

企業名／ご担当者もしくは参加者氏名（複数可）／電話番号／Email／業種、

・ご希望の日程（土日祝を除く）

・時間帯（10:00-12:00、13:00-17:00の任意の時間からスタート）

を、3つ以上ご提示の上ご連絡ください。

通常のメールでのご相談も随時お承りしております。

※ 1件あたり15～20分程度を予定しております。

※ 申込後、開催日の前日までに、事務局より個別にメールで詳細なご案内を差し上げます。

### Q4-2 提出後に応募した内容の変更はできますか。

A. 応募期限内であれば、差し替えとして変更することは可能です。また、事務局の内容確認により、不足しているものがあれば、再提出していただく場合があります。

### Q4-3 応募用紙への押印が必要なのはなぜですか。

A. 企業としての応募の意思確認と、最終提案審査会において、最優秀賞、優秀賞に選ばれた提案は、提案したデザイナーとテーマを提供した企業にそれぞれ賞金が贈られますので、受賞された際に賞金支払いの確認として使用します。

### Q4-4 応募用紙に「新事業開発予算（想定）」の記入が必要なのはなぜですか。

A. 本アワードは一過性のコンペティションではなく、その後実際に企業とデザイナーとが協業し

ていくことを目的としており、中小企業の経営者がデザイナーとともにデザインの視点をもって経営に取り組んでいくことで、ビジネスデザインの幅広い実践を目指しています。

そのため、企業の経営者の方々に新事業開発予算をご応募の時点から見込んでいただき、新規事業としての実現可能性を審査時に参照いたします。

## 5 提出書類・提出方法について

### Q5-1 書けないところは空欄で提出してもいいですか。

A. 応募用紙は空欄がないよう必要事項をすべて記入してください。

### Q5-2 応募用紙は郵送とありますが、持ち込みでもいいですか。

A. 郵送または配送でお願いいたします。

## 6 受賞後の支援について

### Q6-1 参加するとどんなメリット、サポートがありますか。

A. 東京ビジネスデザインアワードはデザイナーと企業と一緒にビジネスを作っていくということを体験していただくための仕組みです。

企業は社内では浮かばなかった新規性のあるアイデアを得ることができますし、実践を通じて商品開発や製品化のプロセスを学ぶことができます。さらに審査会終了後も、1年間継続して審査委員と事務局から事業化・商品化・販路拡大などに対するアドバイスや支援を受けることができます。

- ・テーマ企業として発表されることにより、自社の技術力を広くアピールできる。
- ・ビジネスデザインのプロセスや方法論を実際に経験することにより習得できる。
- ・自社の技術・素材に対して、未来成長性が期待される提案に幅広く出会える。
- ・知的財産、デザイン契約、販路開拓、情報発信など、事業スタートに関わることを無料で相談できる。
- ・東京都から助成事業の情報を積極的にご紹介します。  
(採択等を保証するものではありませんのでご注意ください。)
- ・各種メディア・展示会などでの紹介。
- ・グッドデザイン賞への応募（商品化された受賞提案は「グッドデザイン賞」の一次審査免除）

### Q6-2 製品化や販路の確保を保証してもらえるのでしょうか。

A. 保証は出来かねます。しかし、アワードに参加し、受賞することで、ビジネスデザインのプロ



セスや方法論を実際に経験し、ノウハウを習得していただいたり、その後の日常の業務に役立つ力やきっかけを見つけていただくなど様々なサポートを行っておりますので、ご不安な点があれば、随時ご相談ください。

## 7 その他

### Q7-1 参加費用は無料となっておりますが、開発費用等の企業負担はどのくらいかかりますか？

A. アワードへの参加費用は無料となっております。また、テーマに対して応募された提案、マッチングされた提案によって開発費用は様々です。

### Q7-2 デザイナーとの協業経験がないので、どのようにやりとりしたらよいかわかりません。

A. マッチングをしたデザイナーとは、協業のためのサポートを事務局でしております。ご不安な点がございましたら事務局までご連絡ください。

### Q7-3 過去のテーマ賞受賞、製品化・事業化したものを知りたいです。

A. 公式 WEB サイトより、ご確認くださいませ。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

開催結果は、アーカイブへ

<https://www.tokyo-design.ne.jp/archive/2022/>

製品化・事業化したものは、ビジネス化事例へ

<https://www.tokyo-design.ne.jp/example/?rel=1>

### その他のお問い合わせは下記へメールにてご連絡ください

東京ビジネスデザインアワード事務局（公益財団法人日本デザイン振興会）

〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

E-mail : [tokyo-design@jidp.or.jp](mailto:tokyo-design@jidp.or.jp)

※ メールアドレス内の全角文字「@」を半角文字「@」に変換してご使用ください。